

2020年3月期 第2四半期

# 業績のご報告

2019年11月6日 株式会社ディー・エヌ・エー

# 業績サマリー\*

単位:億円	2019年3月期			2020年3月期			
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
売上収益(IFRS)	343	264	295	314	339	8%	-1%
営業利益(IFRS)	56	-21	49	23	27	18%	-51%
営業利益(Non-GAAP)**	54	-15	0	22	25	12%	-54%
税引前四半期(当期)利益	67	-25	65	39	37	-5%	-45%
親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益	44	-17	47	24	24	-4%	-47%
1株当たり四半期(当期) 利益(EPS)(円)	30.51	-11.43	32.36	16.83	16.23	-4%	-47%
(参考)季節性の強いスポーツ事業を除いた四半期業績推移							
売上収益	264	253	272	234	253	8%	-4%
Non-GAAP営業利益**	24	9	16	-4	-3	-	-



<sup>\*2019</sup>年3月期実績には当期では連結対象外になっている旧EC事業の「決済」及び「旅行」が含まれています。 (「決済」及び「旅行」の売上収益(内部取引消去前): 2019年3月期1Q 28億円、2Q 22億円、3Q 24億円、4Q 26億円)
\*\*IFRSからNon-GAAPへの調整項目・算出過程及びNon-GAAP EBITDAは、本資料末尾の補足説明資料を参照

# セグメント別業績(IFRS)\*

単位:億円	2019年3月期		2020年3月期				
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
売上収益	343	264	295	314	339	8%	-1%
ゲーム	212	198	211	197	215	9%	1%
スポーツ**	79	12	23	80	85	7%	8%
オートモーティブ	0	0	1	3	3	-9%	543%
ヘルスケア	5	5	7	4	4	-11%	-31%
新規事業・その他	48	51	55	31	33	7%	-32%
調整額	-2	-2	-2	-0	-1	-	-
営業利益	56	-21	49	23	27	18%	-51%
営業利益率	16%	-	17%	7%	8%	-	-
セグメント利益	59	-13	6	34	30	-12%	-48%
ゲーム	47	31	51	34	35	3%	-26%
スポーツ**	30	-24	-16	27	28	6%	-6%
オートモーティブ	-7	-11	-11	-13	-19	-	-
ヘルスケア	-3	-4	-2	-5	-4	-	-
新規事業・その他	-4	-1	-2	-5	-7	-	-
共通費・調整額	-5	-5	-14	-3	-3	-	-
その他の収益***	1	1	56	1	1	-34%	16%
その他の費用***	4	9	13	13	4	-68%	8%

<sup>\*2020</sup>年3月期第1四半期よりセグメント項目の集計区分を変更し、2019年3月期第2四半期までさかのぼって組み替えて表示(本資料末尾の補足説明資料を参照)。 2019年3月期実績には、当期では連結対象外になっている旧EC事業の「決済」及び「旅行」が「新規事業・その他」に含まれています。

<sup>\*\*\*</sup>日本基準における、金融収益・費用を除く営業外損益や特別損益等が含まれる(例:有形・無形資産の売却・除却等)



<sup>(「</sup>決済」及び「旅行」の売上収益(内部取引消去前): 2019年3月期1Q 28億円、2Q 22億円、3Q 24億円、4Q 26億円)

<sup>\*\*</sup>野球のシーズンイン・オフ、試合日程等による四半期・半期単位での季節性に関する補足(各期に開催の主催試合数): 2020年3月期(1Q 34、2Q 35)、2019年3月期(1Q 33、2Q 37、3Q 0、4Q 3)

# 費用構成(IFRS)

単位:億円	2019年3月期			2020年3月期			
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
売上原価合計*	147	136	140	139	155	11%	6%
人件費	10	10	10	11	12	10%	14%
減価償却費・償却費	25	25	24	27	25	-6%	-0%
業務委託費	33	29	32	37	38	4%	15%
支払手数料*	55	55	54	39	54	39%	-2%
その他	23	16	21	26	26	-1%	11%
販管費合計*	137	141	148	140	153	9%	11%
人件費	34	35	38	36	39	6%	14%
販促費・広告費*	24	26	22	21	25	23%	6%
業務委託費・支払手数料	57	60	60	59	66	12%	15%
その他	22	20	29	24	23	-3%	4%
その他の収益**	1	1	56	1	1	-34%	16%
その他の費用**	4	9	13	13	4	-68%	8%
連結従業員数(単位:名)	2,342	2,394	2,437	2,541	2,532	-0%	8%



<sup>\*2020</sup>年3月期第2四半期に、売上原価の支払手数料及び販管費の販促費・広告費において、一部集計項目を見直し、2020年3月期第1四半期にさかのぼって変更し、表示

<sup>\*\*</sup>日本基準における、金融収益・費用を除く営業外損益や特別損益等が含まれる(例:有形・無形資産の売却・除却等)

### ゲーム事業:業績推移

• 当第2四半期は、後半に新規タイトルの配信を開始、業績への貢献は既存タイトルが中心となり、 前四半期比では、ユーザの消費額・セグメント利益ともに概ね横ばいの推移

#### ユーザの消費額\*

#### ゲーム事業セグメント利益

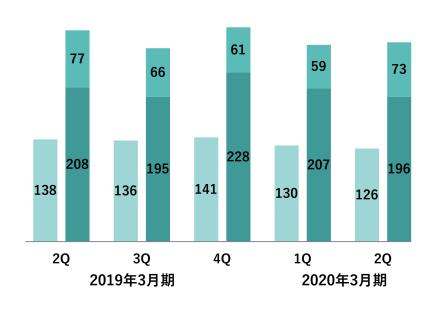
(億)

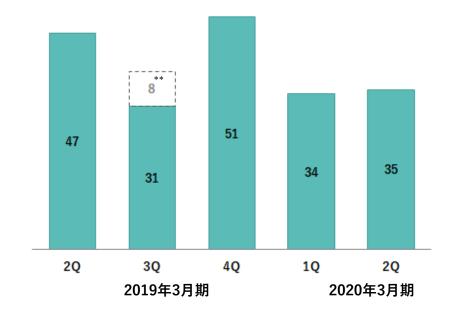
海外のアプリにおけるユーザ消費額

日本国内のアプリにおけるユーザ消費額

■ 日本国内のブラウザにおけるユーザ消費額







外部プラットフォーマーに対する債権額に関して、過去の支払手数料等の計上漏れが判明し、過去分も含め当該四半期に修正を行ったもの

<sup>\*</sup>一部、無料付与分の消費額を含む

<sup>\*\*</sup> 一時的な会計処理の影響

### ゲーム事業



© 2019 Nintendo

#### マリオカート ツアー

- 任天堂との協業では、マリオカート ツアーを 9月25日に163の国と地域で配信開始
- 世界の都市をテーマにしたコースを舞台に、 片手で遊ぶ新しいマリオカート
- 配信開始から約1か月が経過し、ダウンロード数、プレイ人数とも、任天堂との協業タイトルの中で過去最高水準で推移
- 12月からは、有料会員サービスのゴールドパスの加入者を対象にマルチプレイのβテストの開始を予定するなど、機能拡張と運営に取り組んでいく



# ゲーム事業

- 2019年8月29日よりポケモンマスターズ\*の配信を開始し、配信開始から4日で全世界累計1,000万ダウンロードを突破
- まもなく予定のメインストーリーの新章追加含め、今後、一層のコンテンツの充実やイベント施策の 刷新、ゲームバランスや各種機能の調整・改修等、今期末にかけて順次実施予定



© 2019 DeNA Co., Ltd.

© 2019 Pokémon. © 1995-2019 Nintendo / Creatures Inc. / GAME FREAK inc.

ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。



\*8言語(日本語、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、韓国語、中国語(繁体字))にて配信。

### ゲーム事業



#### メギド72

- CESAが主催する「日本ゲーム大賞2019」の年間作 品部門で優秀賞を受賞
- オリジナルの世界観やストーリー・独自のバトルシステムなどで、ファンに支えられ堅調に推移
- 2周年(12月7日)に向けて、関連するイベント等各種施策に注力



#### スラムダンク

- ・ 中国地域にて配信予定のスマートフォン向け新作 ゲームアプリ
- 人気キャラクターのスキルを操作し、他のプレイヤーとリアルタイムで対戦
- 2019年10月にクローズドβテストを実施

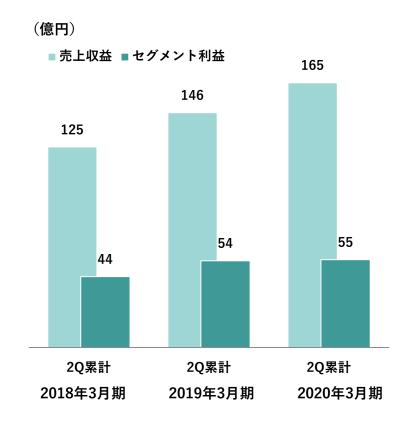


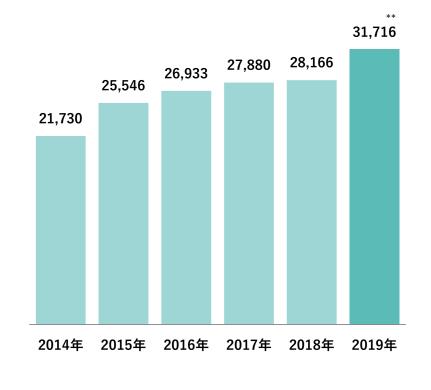
# スポーツ事業

スポーツ事業全体での通期の増収増益に向け、順調に推移

#### スポーツ事業セグメント業績推移\*

#### 野球の主催試合平均観客動員数







<sup>\*</sup>各期の第1四半期、第2四半期における横浜DeNAベイスターズ主催開催試合数累計:2018年3月期68試合 2019年3月期70試合 2020年3月期69試合

<sup>\*\*2019</sup>年レギュラーシーズンにおける横浜DeNAベイスターズ主催試合、全72試合の1試合平均観客動員数

### スポーツ事業

- 2019年シーズンにおける横浜DeNAベイスターズの主催試合の観客動員数は球団史上最高を記録、 横浜スタジアムの稼働率も昨シーズンを超えるなど活況
- セ・リーグ2位となり、本拠地横浜スタジアムにてクライマックスシリーズを開催
- 横浜スタジアムは、増築・改修工事を経て、街と市民に開かれた新たな姿に生まれ変わり、今後も更なる魅力的な空間を目指し、「コミュニティボールパーク」化構想を推進



何度も何度も 来てくれたから、 親客動員数 2,283,524人。

今でもあの声援が、聞こえる。



©YDB

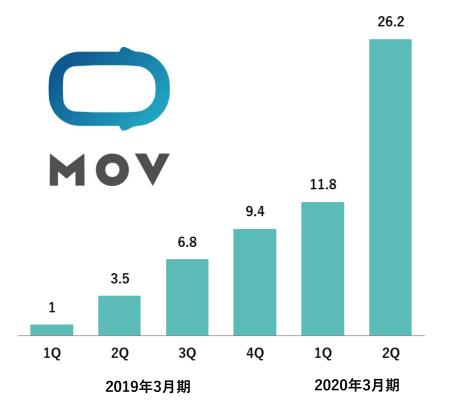


### オートモーティブ事業:MOV

• 既存エリアでの実車回数の成長・事業者獲得、新規エリア展開等、着実に進展

#### 1日あたり実車回数(四半期平均)

(2019年3月期1Q=1とした推移)



#### 神奈川\*

- 参加事業者の総車両保有台数はエリア内ナンバーワン
- 2018年4月のサービス開始時から、継続して実車回数は成長
- 事業モデルの検証・確立に注力

#### 東京\*

- 2018年12月よりサービス開始
- 京急タクシーグループや、小田急交通グループが加わるなど、事業者での導入は順調に進捗

#### 京阪神\*

- 2019年7月より大阪府・京都府で計12のタクシー事業 者と連携し、サービスを開始
- 当第2四半期の実車回数増加に大きく貢献
- 兵庫県はまもなくサービス開始予定

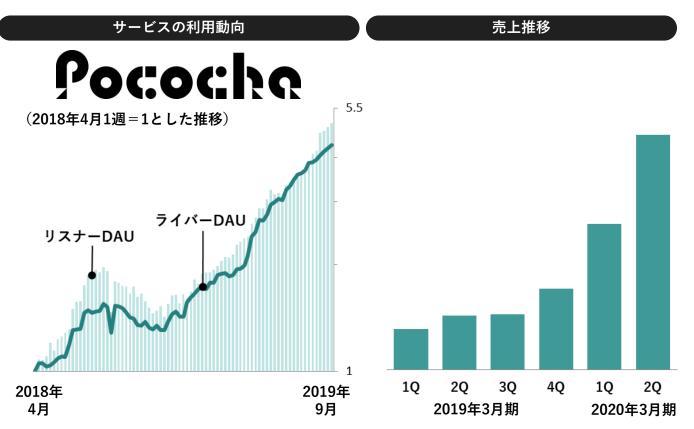


### ソーシャルLIVEサービス

- LIVEコミュニケーションアプリPocochaは、ダウンロード数60万超、累計ライバー数5万人超に成長\*
- コミュニティ形成・イベント運営・サービス環境の構築等、ゲーム運営で培った運営ノウハウも活用
- ライバーやリスナーの増加、サービス内のコミュニケーション量の増加等、利用の活性化を伴いながら、売上も含め、成長が加速









\* 2019年9月末時点

# 補足説明資料

- IFRSベースからNon-GAAPへの調整表
- キャッシュ・フロー
- バランスシート
- セグメント区分



# IFRSベースからNon-GAAPへの調整表

単位:億円	2019年3月期		2020年3月期	2020年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
IFRS営業利益からNon-GAAP営業利益への調整					
IFRS営業利益	56	-21	49	23	27
会計上の計上時期の補正等(純額)	-1	+6	+6	-1	-2
買収、事業・組織変更等に係る一時費用	+0	+0	+0	+0	-
買収、事業・組織変更等に係る一時利益	-	-	-55	-	-
Non-GAAP営業利益	54	-15	0	22	25
スポーツ事業損益	-30	+24	+16	-27	-28
スポーツ事業を除くNon-GAAP営業利益	24	9	16	-4	-3
単位:億円	20	019年3月期		2020年3月期	2020年3月期
単位:億円	2Q	019年3月期 3Q	4Q	2020年3月期 1Q	2020年3月期 2Q
単位:億円 IFRS営業利益からNon-GAAP EBITDAへの調整			4Q		
			<b>4Q</b> 49		
IFRS営業利益からNon-GAAP EBITDAへの調整	2Q	3Q	-	1Q	2Q
IFRS営業利益からNon-GAAP EBITDAへの調整 IFRS営業利益	<b>2Q</b> 56	<b>3Q</b> -21	49	<b>1Q</b> 23	<b>2Q</b> 27
IFRS営業利益からNon-GAAP EBITDAへの調整 IFRS営業利益 会計上の計上時期の補正等(純額)	<b>2Q</b> 56 -1	-21 +6	49 +6	1 <b>Q</b> 23 -1	<b>2Q</b> 27
IFRS営業利益からNon-GAAP EBITDAへの調整 IFRS営業利益 会計上の計上時期の補正等(純額) 買収、事業・組織変更等に係る一時費用	<b>2Q</b> 56 -1	-21 +6 +0	49 +6 +0	23 -1 +0	<b>2Q</b> 27
IFRS営業利益からNon-GAAP EBITDAへの調整 IFRS営業利益 会計上の計上時期の補正等(純額) 買収、事業・組織変更等に係る一時費用 買収、事業・組織変更等に係る一時利益	56 -1 +0 -	-21 +6 +0	49 +6 +0 -55	23 -1 +0	2Q 27 -2 -



# キャッシュ・フロー

単位:億円	2019年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 通期	2020年3月期 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	138	230	102
税引前四半期(当期)利益	141	181	75
減価償却費及び償却費	55	109	65
法人所得税支払額	-14	-23	-10
その他(差引)	-45	-37	-28
投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	-75	-210	-87
財務活動によるキャッシュ・フロー	-40	-47	-62
配当金支払額	-46	-46	-58
非支配株主への配当金支払額	-7	-7	-5
自己株式の取得による支出	-0	-0	-40
その他(差引)	13	6	41
フリー・キャッシュ・フロー ((A)+(B))	63	20	15
連結 現金及び現金同等物	1,066	1,014	968
(うち、DeNA単体)	776	850	744



# バランスシート

単位:億円	2019年3月期 第2四半期末	2019年3月期末	2020年3月期 第2四半期末
流動資産	1,493	1,337	1,268
うち、現金及び現金同等物	1,066	1,014	968
非流動資産	1,771	1,627	1,908
うち、のれん	461	460	460
うち、無形資産	166	154	146
うち、持分法で会計処理している投資	181	187	217
うち、その他の長期金融資産	883	706	841
資産合計	3,264	2,965	3,176
流動負債	457	319	307
非流動負債	108	77	198
資本合計	2,699	2,569	2,671
うち、親会社の所有者に帰属する資本合計	2,619	2,517	2,596
負債及び資本合計	3,264	2,965	3,176

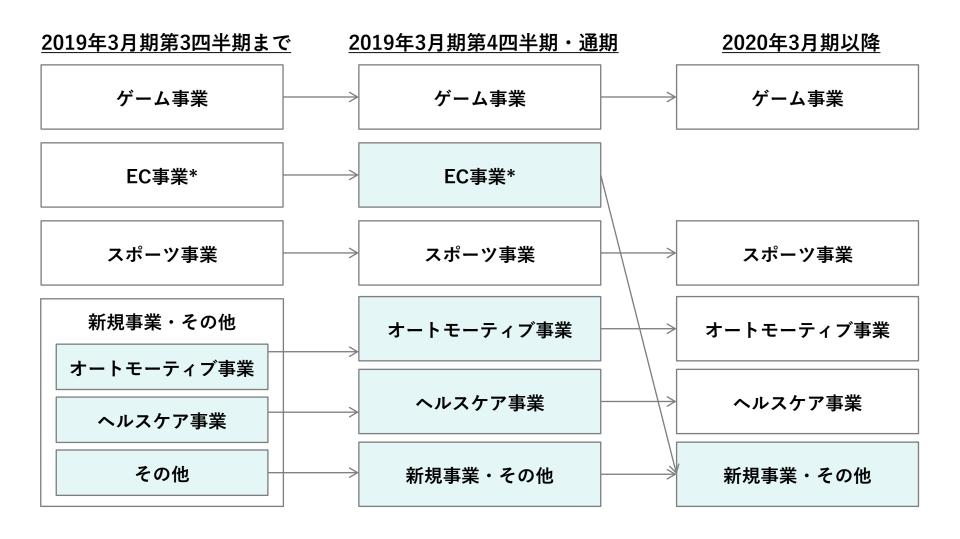


# セグメント区分

セグメント区分	内容
ゲーム事業	国内外ゲーム
スポーツ事業	野球、バスケットボール、ランニングクラブ等
オートモーティブ事業	MOV、Anyca等
ヘルスケア事業	MYCODE、kencom、歩いておトク等
新規事業・その他	サブセグメント名(カッコ内は主なサービス名) • IP創出プラットフォーム(マンガボックス、エブリスタ) • EC(モバオク) • その他ネットサービス(SHOWROOM、Pococha)



### セグメント区分





<sup>\* 2018</sup>年5月31日付で株式会社DeNAトラベルの全株式を譲渡し、以降、連結対象外 2019年3月29日付で株式会社ペイジェントの当社が保有する全株式を譲渡し、以降、連結対象外

本説明会及び説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に 不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、 これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。



株式会社ディー・エヌ・エー

